



原田つよ議員

島内で安心した生活を一日でも長く

議員 共同生活住居の募集は、どのような形でされるのか。また、入居後、要介護になった場合どのような対応をするのかたずねる。

市長 募集要項等を島しょ部で回覧し、様々な機会を通して周知を図る。要介護Ⅰ以上になった場合は、市が本人と御家族に相談し、介護支援専門員等と連携を図りながら、安心して介護を受けられる環境に向けて手続等を進める。

議員 要介護になっても、サービスを利用しながら、少しでも長くその場で生活できるのかたずねる。

健康福祉部長 サービスを使いながら、できるだけ長く住んでいたきたいが、その時点で話をして連携をとっていきたい。



北木島共同生活住居

安心して観光に出られる港に

議員 伏越フェリー乗り場について①管理はどこか。②使用目的は何か。③夏場の観光客や帰省客の増える時期の現状を把握しているか。④笠岡諸島への玄関口として捉えるべきと思うが、お考えは。

市長 ①岸壁と岸壁背後の道路用地、臨港道路等が県、東側の駐車場用地とフェリー関連用地等が市である。

②岸壁背後の道路用地は、フェリーへの乗降のための用地。駐車場用地は、フェリーを利用する車両が待機する等の用地。東側の関連用地は現在、駐車場である。

③御指摘や苦情があり、県や警察と連携して対応したが、改善できていないのが実情である。

④笠岡諸島への玄関口として、案内板設置等の対策を講じたい。



齋藤一信議員

空き家対策の推進に関する特別措置法を受けて

議員 特定空き家への行政代執行に対する市の考えをたずねる。

市長 行政代執行は、あらゆる手を尽くした後の最終的な手段として慎重に検討すべき。従来の助言または指導を粘り強く継続することが基本であることに変わりない。

議員 今後、空き家になる前の事前の予防活動が重要になる。具体的にはコンサルティング体制の確立、官民連帯の資金調達の仕組みづくり、地域による空き家活用支援、単身高齢者への働きかけ、所有者への情報発信など総合的に空き家予防体制を構築するべきだ。

市長 空き家予防体制は非常に重要なものと考えます。今後空き家となり得る場合についても相談に応



じるなど空き家バンクへの登録等を促していくが、総合的な空き家予防体制の構築については今後の重要な課題とさせていただきます。

ご当地ナンバープレート導入を

議員 本市の郷土愛の醸成、市のPRのためご当地ナンバープレートを導入すべき。

市長 導入実現に向けて検討したい。

総務部長 デザインの一般公募をして、選定委員会を設けて決めていくのが一つの方法。公募方式いくと実施時期は来年4月ぐらいからになる。

